

越境EC支援のリスト AIで商品を最適分類

2018年2月9日 15:11 [有料会員限定]

越境電子商取引（EC）を支援するスタートアップのLISUTO（リスト、東京・港、ニール・プラテック社長）は、人工知能（AI）を活用し海外のECサイトへの出品登録や商品の分類などを簡単にできるサービスを始める。楽天市場やヤフーショッピング、米イーベイなどで活用できる。適切に商品を分類することでユーザーが商品にたどり着きやすくなり、購買につながるという。

リストが提供するAIサービス「LISUTO AI」のターゲットは、ECサイトを持つ企業と、ECサイトに商品を出品する企業だ。



ニール・プラテック社長は日本生まれのイスラエル人だ

ECサイトを持つ企業向けには、すでに登録された商品の詳細などの情報を自然言語解析などができるAIで解析。消費者が探しやすいように適切なカテゴリーに自動で登録する。

出品企業向けのサービスでは、出品する商品がECサイトのどのカテゴリーに適しているかを提案する。国内のECサイト以外にも、米イーベイがドイツやオーストラリアで運営する各国向けのECサイトなどにも対応する。商品名などは各国語に自動で置き換える。

「近年は、検索で商品を絞り込んだあとにカテゴリー別に再検索するユーザーが多い」とプラテック社長は話す。だが、多くのECサイトで

は商品が適切なカテゴリーに登録されていない例が多く、ユーザーが商品ページにたどり着いていないことが多かったという。

(企業報道部 矢野摂士)

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

NIKKEI No reproduction without permission.